

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	子ども支援課担当課長 谷川 宏		
こども-02	実施事業	子育て支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	子ども支援課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	子ども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対するため。
効果	子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。 「冒険遊び場」、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	4,450	4,582	当初予算(千円)	12,662		
	国県支出金	1,956	2,192	国県支出金	2,024		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	2,494	2,390	一般財源	10,638		
事業経費運営	人員配置数	2.0	2.2	人員配置数	2.2		
	人件費(千円)	15,426	16,887	人件費(千円)	17,098		
	総事業費(千円)	19,876	21,469	総事業費(千円)	29,760		
	市民1人当りの経費(円)	113	122	市民1人当りの経費(円)	169		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー かまくら子育て支援グループ懇談会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	「冒険遊び場」の常設化を実施する。 かまくら子育てメディアスポットにて、保育園・幼稚園等の情報提供や、地域の子育てサークル・イベント情報など、子育て支援情報の提供を行う。
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由			事業へ統合	
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	「冒険遊び場」の常設化を実施する。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	子どもの居場所の確保、子育て支援の更なる充実等、多様化する市民ニーズに応えるとともに「冒険遊び場」の常設化を実施する。また、保育コンシェルジュ及びかまくら子育てメディアスポットの更なる活用を図る。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン」の推進主要施策の一つである「多様な体験機会の確保」について、「冒険遊び場」の常設化等を実施する。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	「冒険遊び場」の常設化に向け、二日連続や月複数回開催した。協働団体と常設化に向けた協議を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	「冒険遊び場」の常設化の実施後は、子ども達の健やかな育ちの一助となるよう努める必要がある。また、子育ての拠点として地域交流を図りながら機能を充実させる必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	プレイパーク事業(冒険遊び場)実施状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横浜市	川崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	×	○	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	プレイパーク事業実施状況にはバラつきがあり、手法も市町村により様々であるが、本市の自然環境等を活かした、手法を検討していく必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	「冒険遊び場」の開催日数					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
「冒険遊び場」常設化に向けて、具体的な事業実施の手法の検証となるため。	目標値	12.0	12.0	24.0	24.0	24.0	130.0			
	実績値	11.0	12.0	22.0	22.0	22.0				
	達成率	91.7%	100.0%	91.7%	91.7%	91.7%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	「冒険遊び場」常設化に向けて、雨天による中止等はあるものの、順調に開催回数を増やしてきた。令和元年度には目標としてきた「冒険遊び場」の常設化を実施する。
-----------------------	--